

地区だより

…………… 令和5年6月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,856人 女 20,341人
計 39,197人
世帯数：20,875世帯
(5月1日現在)

2023

6月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊚536-9828

令和5年度「地域コミュニティ等支援事業補助金」活動団体募集

地区ごとに策定された「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進するため、地域の課題解決、地域コミュニティの活性化、安全・安心なまちづくり、環境整備などに主体的に取り組む団体の活動経費を補助します。

■募集期間／6月23日(金)まで

■応募方法／地域共創課に事前相談の上、事業計画書を提出



◀詳しくは市ホームページをご覧ください

■問／地域共創課 ☎525-3731

「令和4年度の活用事例」

実施団体	事業名(内容)	対象経費
中央東地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会	花によるおもてなし事業	花苗・資材代ほか
中央西地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会	史跡探訪フィールドワーク ～みんなで歩こう みかわだい～	イベント開催経費
	三河台クリーンアップチャレンジ	イベント開催経費
第一方部民生児童委員協議会	命の授業プロジェクト ～「ありがとう」の日々へ～	講演代ほか
南町町内会	地域的美観維持及び安全・安心なまちづくり事業	チェーンソー、ヘッジトリマー代ほか
三河台地区青少年健全育成推進会	たくましく生きる力を育てる事業	ジャンパー、キャップ代



▲花によるおもてなし事業



▲史跡探訪フィールドワーク



▲三河台クリーンアップチャレンジ

地区内工事のお知らせ

工事箇所	工事内容	予定工期	備考	担当課
宮下町地内	市道 曾根田町・三本木線 道路改良工事	6月中旬～ 令和6年3月下旬	午前9時～午後5時の時間帯で 幅員減少	道路建設課
御山町地内	市道 太平寺・山口線 道路改良工事	6月中旬～ 令和6年3月下旬	午前9時～午後5時の時間帯で 幅員減少	道路建設課

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊚533-7592

ヤングカレッジ中央 6月1日(木) 開講します!

自分たちで企画した様々な活動を通して、仲間づくりを行う「ヤングカレッジ中央」では、随時、受講生を募集中! 興味のある方はお気軽にお問合せください。ご連絡お待ちしております。

- ◆対象: 18~35歳程度の方
- ◆活動日時: 主に毎週水曜日または木曜日 19時~21時
- ◆活動場所: 中央学習センターほか
- ◆年会費: 2,000円(保険代・資料代等)
※その他、活動によっては実費負担あり
- ◆申込み: 中央学習センター窓口・電話
または下記メールアドレスまでご連絡ください。
keiichi-649@mail.city.fukushima.fukushima.jp



ヤングカレッジ中央学級生がInstagramで活動を紹介しています!



昨年度の講座の様子

令和5年度中央こどもクラブ受講生募集!

学校ではできない様々な体験を通して、異なる学校・学年のお友達と交流をしてみませんか? レクリエーションや電車の旅、キャンプなど盛りだくさん!

- ◆対象: 中央地区内の小学3~6年生
- ◆ところ: 主に中央学習センター近辺
- ◆定員: 25名(先着順)
- ◆期間: 6月~翌年3月(主に日曜日・全11回)
- ◆時間: 午前10時~正午(予定)
- ◆参加費: 1,500円(保険料・資料代等)
※材料代などに経費が必要になった場合は、その都度集めます。



ワクワク電車の旅



キャンプ

<申込み方法>詳しくは小学校をとおして配布されるチラシをご覧ください。

ふくしま花のまちづくり事業 「花のまちガーデニング教室」初夏の寄せ植え

- ◆日時: 6月24日(土) 午前10時~正午
- ◆参加費: 1,500円(材料代)※参加費は受講当日お願いします。
- ◆ところ: 中央学習センター 2階ホール
- ◆講師: あとりえ悠然 代表 五十嵐 和恵 先生
- ◆対象: 中央地区に在住、在勤の方
- ◆内容: 夏の花の育て方や管理方法など実際に寄せ植えを体験しガーデニングの基礎知識を学びます。
- ◆定員: 15名(定員を超えるお申し込みがあった場合は抽選となります)
- ◆申込み: 6月1日(木)~6月10日(土)までに電話、窓口、オンライン申請で中央学習センターへお申込みください。
- ◆その他: 受講当日午前9時30分から、まなびいガーデンの苗植えのボランティアご協力お願いいたします。



オンライン申請用QRコード



学びの轍 ~つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ~

社会教育施設として公民館活動の充実

昭和43年に中央公民館が3階建てに増改築され、現在まで残る形となつて以降、施設の近代化が新たな利用者層を生み出し、中央公民館の活動は新たな転機を迎えることとなります。昭和44年には、福島養護学校(現: 福島支援学校)卒業生を対象に、「しゃくなげ青年講座」が開設され、参加者同士の交流や余暇の有効活用、社会参加や自立支援の一助とする場として現在も続いています。また、市民学校が盛んに行われる中、昭和46年には市民学校作品展展示会が開催されました。市民学校作品展は、その後、「趣味の作品展」「公民館まつり」と名を変えながら発展し、現在まで続く中央地区文化祭へと発展していくこととなります。さらには、青年学級や婦人学級、高齢者学級なども盛んに行われました。青年学級については、昭和47年当時、中央公民館で7つの青年学級が開設され、参加者は300名を超えたとされています。その後、昭和55年11月には「公民館開放事業」が実施されました。市内の団体・サークルの皆さんが自主的な活動の場として中央公民館を利用できるようになり、公民館活動は発展・充実のときを迎えることとなります。



▲中央寿大学(昭和49年)

中央学習センターの沿革 ~公民館活動の充実と公民館開放事業~

- ・昭和44年10月 「しゃくなげ青年講座」開設
- ・昭和46年 3月 「市民学校作品展展示会」開催
- ・昭和47年 4月 「市民大学講座」をはじめ開催
- ・昭和48年 4月 「寿大学」が県の高齢者教育補助学級第1号として指定を受ける
- ・昭和55年11月 「公民館開放事業」が実施
公民館利用団体登録制により、施設の管理が警備保障会社への委託と利用者の自主管理方式となる



▲中央青年学級(昭和51年)

新館トピックス

- ・平常時は交流や憩いの場、災害時は避難所として機能予定
- ・大規模イベント会場としてフレキシブルな敷地利用が可能

